

令和3年度一般会計予算

294 億 2,000 万円

関財務課 ☎43-5210

一般会計歳出(性質別)

項目	予算額	構成比
補助費等	49 億 1,030 万円	16.7%
人件費	48 億 4,749 万円	16.4%
物件費	47 億 8,362 万円	16.2%
普通建設事業費	47 億 669 万円	16.0%
公債費	33 億 1,307 万円	11.3%
扶助費	29 億 9,374 万円	10.2%
繰出金	22 億 2,867 万円	7.6%
その他(注)	16 億 3,642 万円	5.6%
合計	294 億 2,000 万円	100.0%

(注) 維持補修費、予備費、積立金、投資出資貸付金、災害復旧事業費

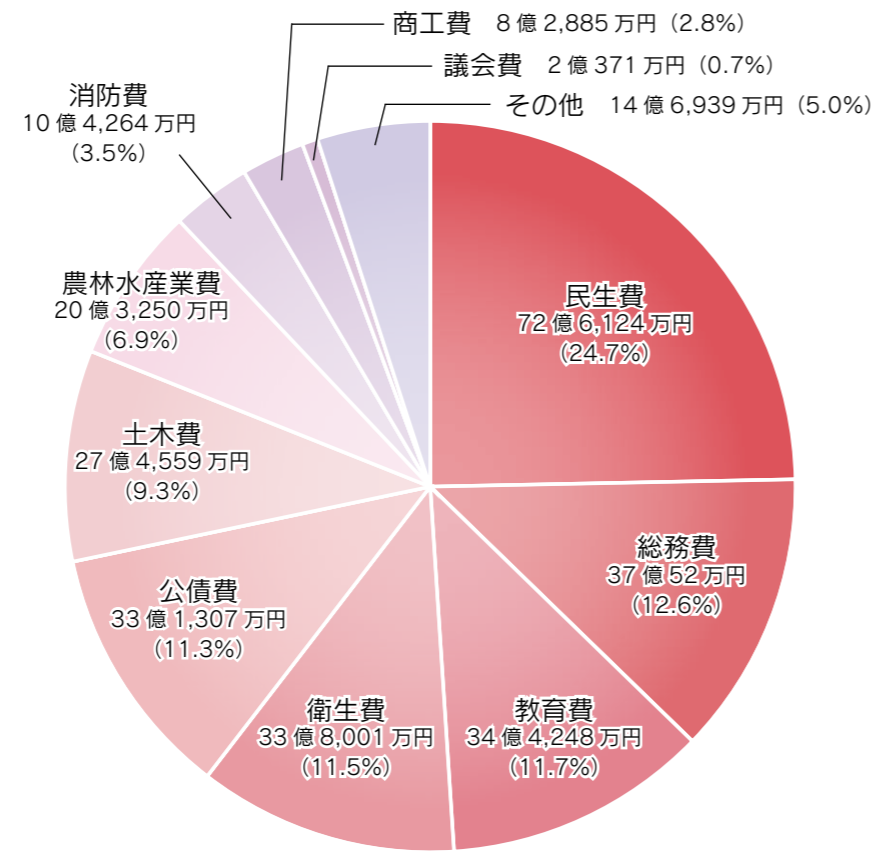
◆歳出
 民生費は、生活保護費や福祉医療等の扶助費の減がある一方で、私立認定こども園施設整備事業補助金等の増加により、前年度と同程度の72億6,124万円となっています。
 総務費は、ケーブルテレビ設備等の民間譲渡による設備維持経費や国勢調査事業費の減がある一方で、ふるさと応援寄附金事業費やケーブルテレビ設備等撤去工事費、市議会議員選挙費等の増により大幅に増加し37億5,200万円となっています。
 教育費は、福良地区公民館大規模改造事業や丸山地区公民館・阿那賀診療所複合化事業の完了等による減がある一方で、賀集・松帆・志知小学校の大規模改造事業費やGIGAスクール構想事業費等の増により大幅に増加し34億4,248万円となっています。

◆歳入
 市税は、新型コロナウイルス感染症の影響による個人市民税の大幅な減のほか、固定資産税において、中小企業者や小規模事業者の軽減・減免措置、3年に1度の評価替えによる減収が見込まれ、全体で53億8,086万円となっています。
 地方交付税のうち普通交付税は、会計年度任用職員制度にかかる期末手当相当額や地域デジタル社会推進費の創設等の需要額の増が見込まれる一方で、代替財源である臨時財政対策債への振替額が3億5,000万円増となったことで80億5,000万円となっています。
 寄附金は、令和2年度のふるさと南あわじ応援寄附金の好調を受け13億7,200万円となっています。

令和3年度の一般会計予算は、政策の柱である「五つの行動」の推進による「子育ての喜びが見えるまち」の実現をめざした予算に加え、新型コロナウイルス感染症対策を切れ目なく実施するため、令和2年度補正予算と一体的に編成した「緊急総合対策事業費」を計上しています。さらに、ふるさと南あわじ応援寄附金が好調であることを受けた関係経費の増額、小学校大規模改造事業等の予算を計上したことなどにより、一般会計予算額は合併後最高額の294億2,000万円となりました。しかし、厳しい財政状況の中でも財政調整基金に頼らず収支均衡のとれた予算編成となっています。

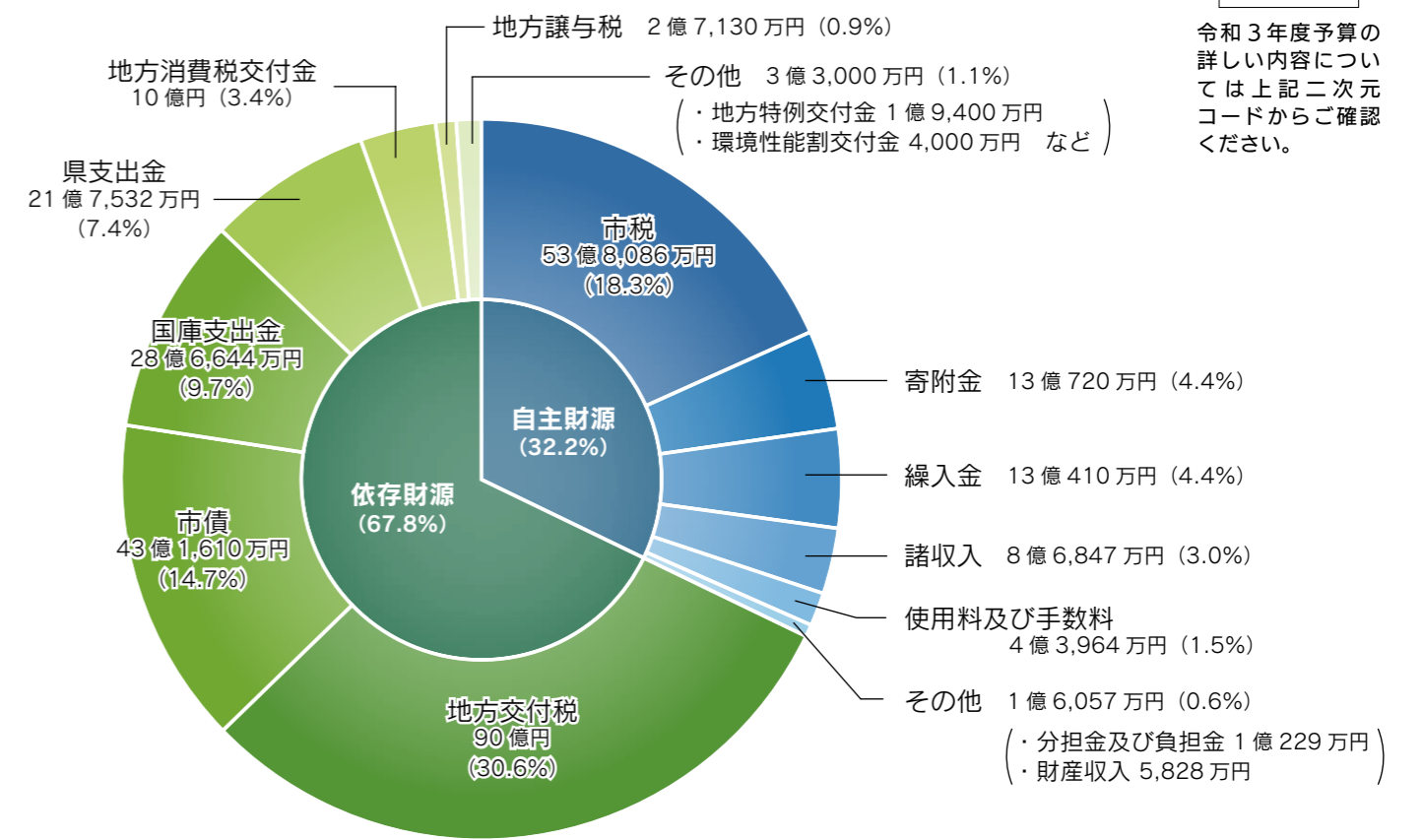
歳出 294 億 2,000 万円

※ () 内は構成比



歳入 294 億 2,000 万円

※ () 内は構成比



令和3年度予算の詳しい内容については上記二次元コードからご確認ください。

特別・企業会計

項目	予算額	前年度比
国民健康保険	65 億 9,004 万円	- 7.3%
後期高齢者医療	7 億 3,900 万円	- 2.2%
介護保険	50 億 5,524 万円	- 0.9%
土地開発	365 万円	- 0.6%
産業廃棄物最終処分	9,607 万円	+ 18.3%
国民宿舎	2,229 万円	- 8.5%
下水道	51 億 1,905 万円	- 4.1%
財産区4会計	1,552 万円	+ 21.4%
合計	176 億 4,086 万円	- 4.3%

基金(貯金)残高の見込み

	令和3年度末	市民1人当たり
一般会計	105 億 7,648 万円	22 万 7,700 円
特別会計	17 億 2,338 万円	3 万 7,100 円
企業会計	0 万円	0 円
合計	122 億 9,986 万円	26 万 4,800 円

市債(借金)残高の見込み

	令和3年度末	市民1人当たり
一般会計	337 億 8,720 万円	72 万 7,400 円
特別会計	1 億 1,126 万円	2,400 円
企業会計	255 億 5,760 万円	55 万 300 円
合計	594 億 5,606 万円	128 万 100 円

※市民1人当たりの額は、令和3年1月末住民基本台帳人口46,447人で算出

歳出内訳の用語解説

- 民生費：高齢者福祉や少子化対策など
- 総務費：一般事務経費や市役所の管理など
- 教育費：幼稚園や小中学校の整備、文化・スポーツ等の振興など
- 衛生費：保健衛生やごみ処理など
- 公債費：借入金(市の借金)の返済金
- 土木費：道路や河川・公園の整備
- 農林水産業費：農林水産業の振興、ほ場整備、鳥獣被害対策など
- 消防費：防災対策や市消防団による消防・救急活動など
- 商工費：地域商工業の振興、観光事業の促進など
- 議会費：議会の運営など
- その他：労働費、諸支出金、災害復旧費、予備費など

歳入内訳の用語解説

- ◆自主財源
 皆さまに納めていただく市税や施設使用料など、市が独自で調達するお金
- ◆依存財源
 地方交付税や国・県支出金など、国や県から市に入ってくるお金
- 地方交付税：地方の財源の均衡を図るため国から交付されるお金
 - 市債：事業をする際に銀行等から借りるお金
 - 国庫・県支出金：事業に対する国・県からの補助
 - 地方消費税交付金：地方消費税の一部を財源として、県から交付されるお金
 - 地方譲与税：国税として徴収され、一律的に譲与されるお金
 - その他：地方特別交付金などの交付金